

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2019 年 7 月 8 日作成

研究課題名	児童思春期の神経性やせ症の入院治療における後方視的研究
研究の対象	2015 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日の期間に横浜市立大学附属病院及び、横浜市立大学附属市民総合医療センターの児童精神科医が担当し、神経性やせ症制限型と診断された入院時 9～17 歳の入院患者さん
研究目的 ・方法	神経性やせ症は、児童思春期の摂食障害の中で最も多く、神経性やせ症制限型の患者は総合病院児童思春期精神科の入院患者で大きな割合を占める。それにも関わらず、急性期の栄養摂取の方法は未だ標準化されていない。入院治療の特徴を明らかにすることで、神経性やせ症の入院治療をより効率的に行うことを解明することの一助になると考える。診療録から患者データや医療記録を後方視的に調査し、分析する。
研究期間	西暦 2018 年 5 月 18 日(承認日) ～ 西暦 2020 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	情報 :入院期間、個室の使用日数、経管栄養の有無、目標カロリー摂取到達日数、再入院の有無、背景因子(年齢、性別、入院時体重、退院時体重、過去の入院回数、入退院時における機能の全体評定尺度) 等
外部への 試料・情報の 提供	該当なし
外部からの 試料・情報の 取得と保管	共同研究機関である横浜市立大学附属病院から、上記のデータにパスワードをかけて、電子データとして提供を受けます。氏名や生年月日、カルテ ID 等、個人を特定できる情報は収集しません。集積したデータは、入室が制限された横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター医局内で、インターネットに接続できないパソコンで管理します。
研究組織	研究代表機関:横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター 高橋雄一 共同研究機関:横浜市立大学附属病院 児童精神科 藤田純一
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター（研究責任者）高橋雄一

電話番号：045-261-5656（代表）